

キャラクター名 小花衣 希乃(こはない きの)	プレイヤー名
----------------------------	--------

シンドローム	ノイマン ウロボロス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	教育実習生
オプション	ソラリス	年齢	21	性別	女
覚醒	命令	衝動	加虐	初期侵食率	37%
出自	姉妹	経験	絶望	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	5	1	0	2		8	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	4	
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: FH	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	交渉	8r+4		4		CR+無形+絶対 装甲無視 9
100%	交渉	11r+4		5		
	交渉	8r+4		24		CR+無形+絶対+神 装甲無視 13回 13
100%	交渉	11r+4		30		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品(ナイフ)	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者:誓約の瞳P		N		
"笛吹き男" ハーメルンP	執着	N 憎悪		
ローザ・バスカヴィルP	有為	N 不快感		
		N		
		N		
		N		
		N		

最大財産P:	4	残り財産P:	2
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CR:ウロボロス 3	3	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	組み合わせた判定のC値-LV EAP129							
無形の影 1	1	4	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	あらゆる判定を【精神】で行う EAP124							
絶対の恐怖 4	4	3	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻+LV 装甲無視 EAP115							
神の御言葉 4	4	4	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果:	攻+[LV*5] EAP118							
ナーブジャック 1	1	10	Xジャー	視界	単体	対決	120%	
効果:	〈意志〉と対決 勝利で対象にXジャー1回行わせる 内容は此方が決める(回数制限不可) EAP102							
代謝制御 1	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	感情を徹底的に制御する EAP95							
扇動家 1	1	-	Xジャー	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果:	話術によって感情を誘発したり行動させたりする BCP64							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

日本支部に籍を置くUGNエージェント。
元々はレネゲイドとは全く関係のない環境で生まれ育っていた。家族構成は両親と2つ上の姉。姉は彼女に比べてあらゆる面で優れており、両親もそんな姉ばかりを可愛がり、妹のことはぞんざいに扱っていた。
そんな生活が続く中、5年前のある日、姉妹揃って誘拐事件に遭う。これはFHの調達セル"ブラッディパレード"によるものであった。普通ならオーヴァードとして無理やり覚醒させられるかそのままモルモットとしてどこかのセルに売り飛ばされるかするところを、そのとき丁度このセルが所持していた遺産「誓約の瞳」の適合者を探していたということもあり(効果がこのセルにとってははかなり有用なものであるため、適合者が見つければこのセル内で使おうという思惑があった)、彼女達は無理矢理左目を抉られ、代わりに遺産を嵌め込まれることとなる。
その遺産と契約し、適合できたのは妹の方だった。彼女はオーヴァードとしての力を手に入れた。姉は遺産に選ばれず、身体がその力についていくことができずに隣で死んでいた。目を取られた痛み、目の前の男への憎悪、自分の身に起こったことへの恐怖——そして、「姉ではなく自分の方が優れていた」という優越感。様々な感情に吞まれながらも、彼女はこのFHセルで道具として使われることとなる。

仕事内容は主に攫ってきた商品の洗脳。遺産を使い対象を意のままに操る力を手に入れた彼女には相応しい仕事だった。抵抗する彼等を黙らせ、服従させ、そして「マスター——」"ハーメルン"の思うままに処理する。初めはそんな非人道的なことを自分でやるなんて到底受け入れられるわけもないため激しく抵抗していたが、度重なる暴力により心を殺された彼女は、やがて文字通り「人形」として死んだように生き、ただ彼の従順な駒として過ごしていくこととなる。

しかしそんな日々は突如終わりを迎える。自分の代わりとなる駒がセルに入ってきたからだ。マスターの命令だけを聞きそれに従い続ける生活を送っていた彼女は、自分が用済みになってしまったことにより彼と新入りのオーヴァードに強い憎悪を抱き、皮肉にもこれをきっかけに数年ぶりに自我を取り戻す。
今までの所業、そして使い捨てられたという事実とに激しい怒りを覚えた彼女はそのままセルを離反、UGNに転がり込んだ。FHのダブルクロスである上、自分の意思ではないとはいえ過去に何人もの一般人を手にかけているという前科もあるため決してすんなりとはいかなかったが、現在はUGNに正式に所属するオーヴァードとして認められている。そして先日、自身の住んでいる市で"ハーメルン"が目撃されたという情報を聞き、彼との因縁に区切りをつけるために動きはじめる。